

近いが美味しい
今日のごはんに加須産を。



問合せ シティプロモーション課
(☎内線313)

毎日の食事で使う食材を、あなたはどんな基準で選びますか。「旬」「価格」「産地」「量」…選ぶポイントは人それぞれかもしれませんが、「美味しいものを食べたい」という気持ちは共通していることだと思います。

改めていうまでもありませんが、加須市は「田園都市」で、市域面積の半分を農地が占めています。コメの生産量は埼玉県内1位であり、施設園芸や果樹栽培、畜産や養魚までさまざまな農業が展開されており、住まいの近くでその栽培の様子を知ることができます。

技術や流通の進歩により、収穫してから短い時間で私たち消費者は店頭などで手にすることができるようになりましたが、暮らしのそばで農産物が育っていくその過程を知り、新鮮な状態で購入することができれば、地元の農産物ならではの魅力です。

今月号では、12月から出荷が始まる「トマト」と「つるつきいちご」について、皆さんにその魅力をお届けします。